

# 安全大会お知らせ

株式会社ビコーインプレス  
代表取締役 近藤伸悟

毎年の恒例となっております安全大会につきまして、現在の社会情勢などを鑑み、参加者及び関係者の皆様の健康・安全面を第一に考慮した結果、今年度につきましても開催を中止することとしました。よってご連絡申し上げます。

以下は私共が取り組んでいる安全意識です。

## 安全対策に対する知識、認識そして意識

さて私どもビコーインプレスも皆様と変わらず、建築の工事現場での事故をどうやって防止するか？という永遠なるテーマに日々取り組んでいます。ニュースなどで見ますと、どこかで何らかの建築現場事故が起きています。ご多聞にもれず、弊社でもここ数年で8件の事故が起きました。最後にその詳細を記載します。

さて、建築の現場での事故防止に関する書籍は、厚生労働省労働局などから非常にたくさん出版されています。また、法令や各建築会社での規則やルールなどは、完璧と言っていいほど網羅されています。また事故が起きた場合の補償など、ぞっとする事例集もあります。さらに、今回もそうであるように、全国安全週間を行って注意喚起を行っています。そして、こういうことは、建築現場に関わるほとんどの人達は熟知しているはず。また、被害にあった人達を見ると、新人、ベテランを問わず事故に会っています。このように、官民で総力を挙げて事故防止をしているにもかかわらず、事故が無くならないのは何故でしょう？

基本に立ち返って考えてみます。

私が考えるに、建築現場における知識、認識、意識の問題が事故を引き起こすのではないかと思います。

建築現場の知識；

知識とは知っていることです。工事現場の知識というのは、建物の知識、材料の知識、工事のやり方の知識、工具、道具、器具、重機の知識、ハーネスなどの防具の知識、工事現場を取り巻く環境（近くに高圧線がある、地中に水道管があるなど）の知識、これは現場管理者にとって、100%と言えないかもしれませんが熟知しているとしましょう。現場管理の資格者が管理者をやっていますから、これは合格だと思います。これらが知識です。

そうすると、次は、現場には危険が潜んでいるという認識です。

今まで事故にあっていない現場関係者でも、色々なニュースや、安全大会などで発表される事故例など、確かに現場事故が起きていることを認めることが必要なのです。

誰も事故に会うなど考えていません。車の運転も同じことです。事故に会うなんて思っていないのです。

しかし、毎日、ニュースには交通事故の記事があります。こういう事故が毎日にも起きている、これを知って認める事が認識です。自分自身にも事故が降りかかる、と認めることが事故防止のスタートです。認識です。

次に意識です。建築現場の正しい動かし方＝知識を身に着け、事故が起こるかもしれないという認識、そして一番大切なことは事故を起こさない、事故にあわないという意識を持つことです。そして、その意識を行動に表すことです。幸いなことに無事故を続けていると、いつものようにやっていると事故にあわない、という認識が出来上がり、事故に対する意識が薄れてきます。其の時に事故が起きるものです。

私は、工事現場に同じ工事現場はない、毎回初めての現場である、と自分自身に言い聞かせ、自分自身の事故意識を高めています。これは工事現場だけではないと思います。交通事故もそうです。どんな行動でもどんな些細な作業でも、自分はこれをやるぞ、と、意識して実行するようにしています。

実際に、私が、自分自身でやっている仕事のやり方、事故防止の心構えを書きましたが、皆様の事故防止になんらかの参考になれば幸いです。

自分自身への標語です「知識、認識、そして意識で安全対策を！」